

GRP260xシリーズ 設定マニュアル（手動設定版）

2021/6/24 Ver.1.00 作成
2021/6/29 Ver.1.01 修正
2021/7/06 Ver.1.02 修正
2021/11/18 Ver.1.03 修正
2021/11/18 Ver.1.04 修正



はじめに

このたびはGRP260xシリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用前に必ず本書をお読みにになり、お読みになった後はいつでも見られる所に必ず保管して下さい。
当サポートにて各機能を提供しております。お問い合わせは弊社までお願いいたします。
※ 製造元へのお問い合わせはご遠慮ください

最初に付属品 / 添付品が全て揃って入ることを確認して下さい。

- ・ GRP260x 本体
- ・ 受話器
- ・ カールコード
- ・ イーサネットケーブル
- ・ スタンド
- ・ 電源アダプタ (GRP2601/2602/2603/2604の場合は付属しません。)
- ・ Quick Installation Guide

■免責事項

- ・ 機能・仕様については予告なく変更する事があります。
- ・ お客様及び当社のネットワーク環境により、ノイズ・音の途切れ・不通などの現象が起こる事があります。また、通話品質の保証はいたしません。
- ・ 個人の聴力により通話品質に差が生じた場合について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 日本国外でのご使用に際する障害について、当社は一切の責任を負いません。
- ・ GRP260xシリーズは定期的なサーバメンテナンスを行うため、事前の告知なく一時的にサービスが停止する場合があります。
- ・ 商品の故障、誤動作などの要因で電話が使えなかった事による付随的障害については、当社は一切その責任を負いません。

■お手入れ

柔らかい乾いた布で拭いてください。ぬれた雑巾は使用しないでください。ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は本体を傷めますので、使用しないでください。科学雑巾をご使用になる時は、科学雑巾に添付の注意書をよくお読みください。

■接続方法(本手順書5ページの参考図を参照してください)

1. 本体とスタンドを接続する
2. イーサネットケーブルを本体後側の「赤丸」ポートとブロードバンドルーターのLANに差し込む
3. カールコードを本体の「緑丸」ポートに差し込む

※ 接続の順番は必ず守ってください。ケーブル、アダプタは確実に差し込んでください。

接続してから通話ができるまでには数分かかりますので、しばらくお待ちください。

※ 必ずGRP260x本体背面の「赤丸」に、ルーターからのイーサネットケーブルを接続します。

本体背面の「青丸」は、PC等接続しますと、GRP260xを通してネットワークに接続する事が可能です。

※参考図は次ページを参照してください

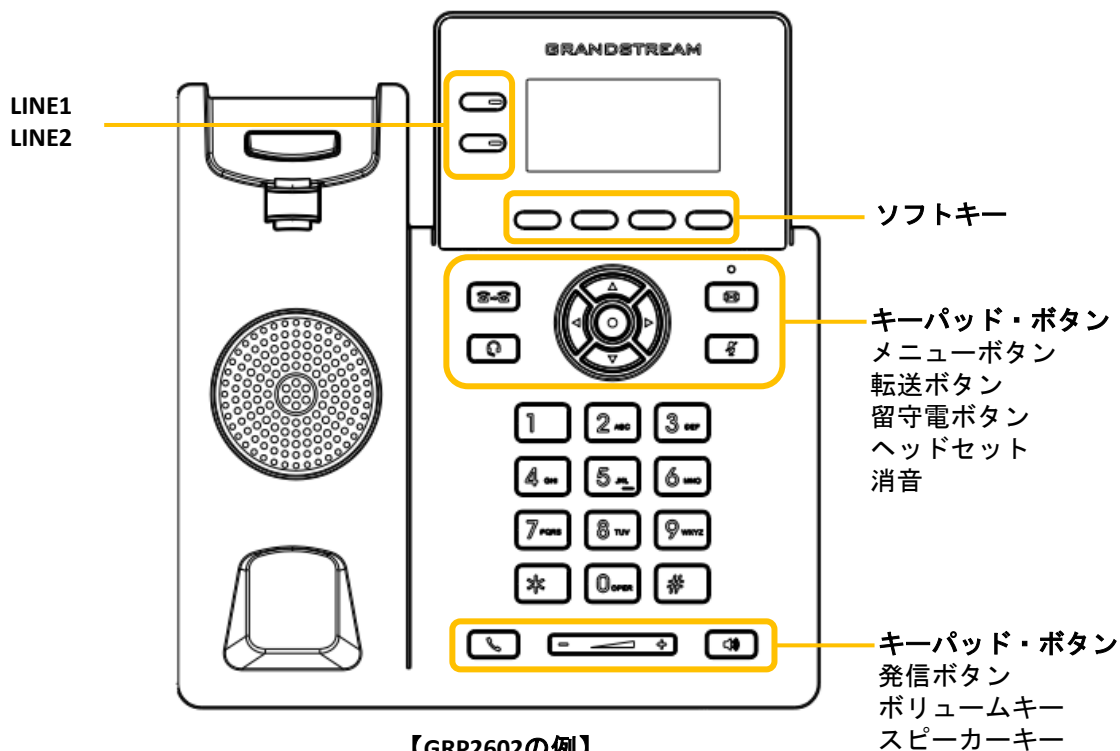
赤丸 LANポート ネットワークに繋ぐためのポート。

青丸 PCポート PCとGRPをつなぐためのポート。

緑丸 ハンドセットポート 受話器をつなぐためのポート。





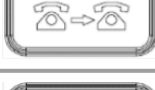


GRP260xシリーズとは


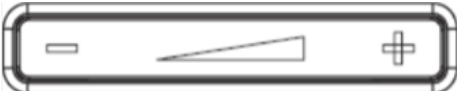


GRP260xシリーズは、当サービスにてお使いいただける電話機です。一般加入電話としてはご利用できません。本製品をご利用いただくためには、インターネットサービスプロバイダに加入して置く必要があります。ご利用のモデムにブロードバンドルーター機能がない方は、別途ブロードバンドルーターが必要となります。発信として使用できます。



LCDディスプレイ

様々な設定や、相手の電話番号などが確認できます。

	HOLD:保留 通話中に相手に待ってもらったときに使用します。こちらの声や音は相手に聞こえません。
	消音 待ち受け時は着信拒否モード、通話中は自分の音声相手が相手に届かなくなります。
	ヘッドセット ヘッドセットを使用する際に利用します。
	メッセージ ボタンを押すと留守番電話のメッセージが表示されます
	TRANSFERT:転送 電話機の機能として、転送をすることができます。
	スピーカー ハンズフリー機能です。受話器をおいたままでも通話ができます。
	発信ボタン ハンドセットモードを有効/無効、または再ダイヤル/発信として使用できます。

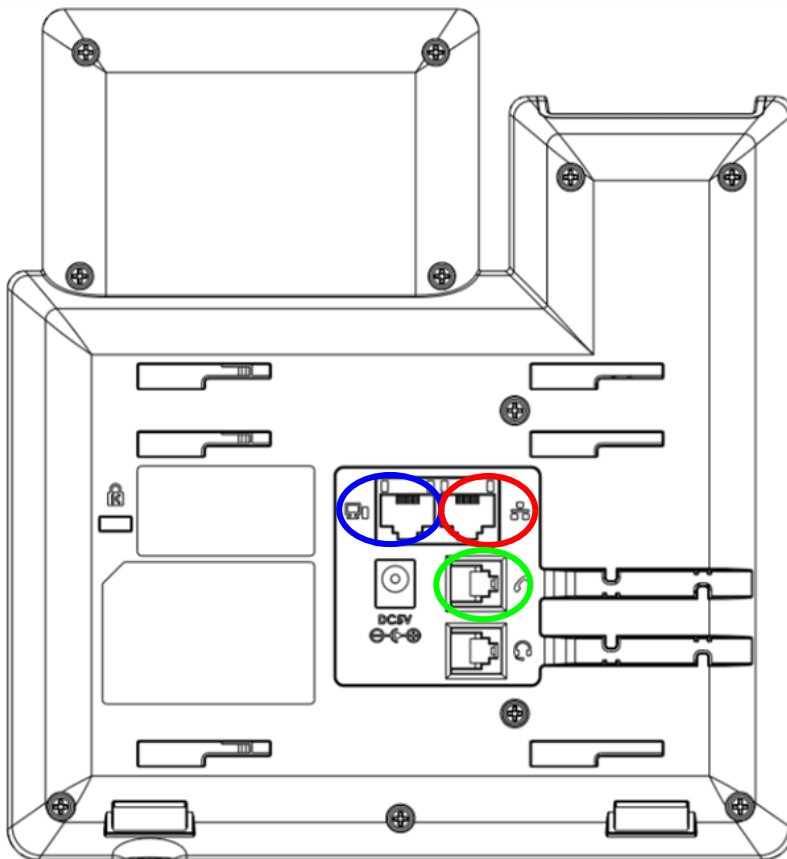
	<p>LINE1/LINE2 回線の切り替えボタンです。「LINE1」「LINE2」それぞれに回線を設定できます。</p>
	<p>ボリュームキー 受話音量を8段階に調整します。</p>
	<p>メニューボタン（真ん中） 電話機が使用されていない場合に、キーパッド・コンフィギュレーション「MENU」モードを入力するためにはこちらのボタンを押してください。入力時は下のメニューボタンを使用します。キーパッド・コンフィギュレーション中にある場合ENTERキーとして使用してください。</p>
	<p>Menu:メニューボタン 電話機にセットされた設定内容が確認できます。メニューに入ったら、上/下/左/右を押してメニューオプションをスクロールします。右・左キーでタブを切り替えたり、一部のオプションの有効・無効を切り替えたりすることができます。</p>




メニューボタン（待ち受け時の状態）

様々な設定や、通話履歴を確認します。

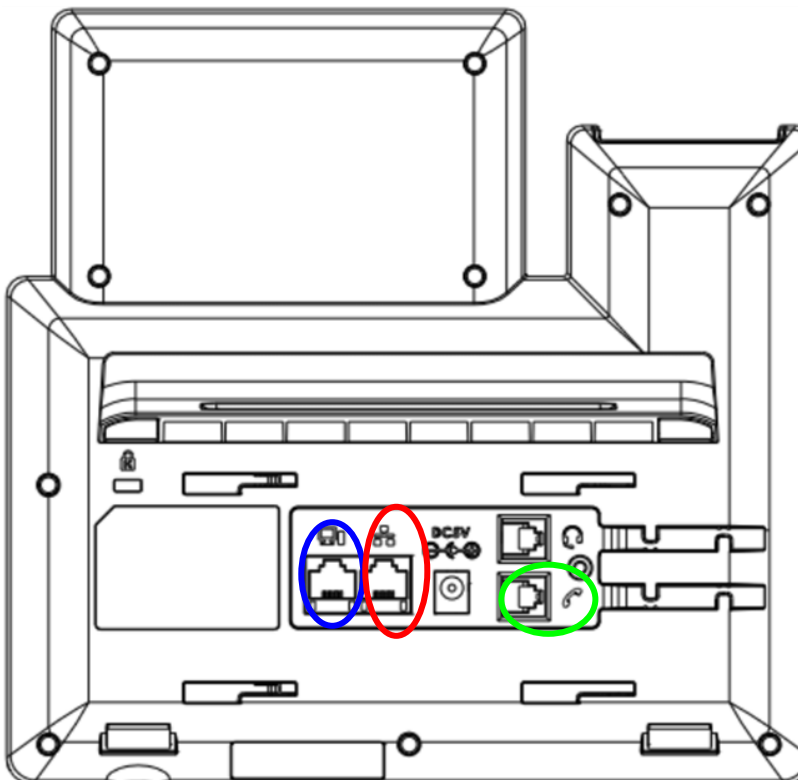
メニュー中央ボタン	待受画面では、設定メニューに進みます。Enterキーとしても利用します。
メニュー上キー	待受画面では、メニュー上キーを押すことで端末IPアドレス、ソフトウェアバージョン等を表示します。
メニュー右キー	待受画面では、デフォルトでは操作は無効になっています。
メニュー左キー	待受画面では、デフォルトでは操作は無効になっています。
メニュー下キー	待受画面では、デフォルトでは操作は無効になっています。




GRP2601,GRP2602の裏面参考図



-  LANポート
-  PCポート
-  ハンドセットポート

GRP2603,GRP2604の裏面参考図



-  LANポート
-  PCポート
-  ハンドセットポート

設定方法

① GRP260x本体のIPアドレスを確認する。

ディスプレイ下部の4つのボタンのうち左端を押して、メニューを開きます。

メニューの「状態」を選択し、本体真ん中の●ボタンを押します。

状態一覧から「ネットワーク状態」を選択し、●ボタンを押します。

IPv4:xxx.xxx.x.xxxを確認します。

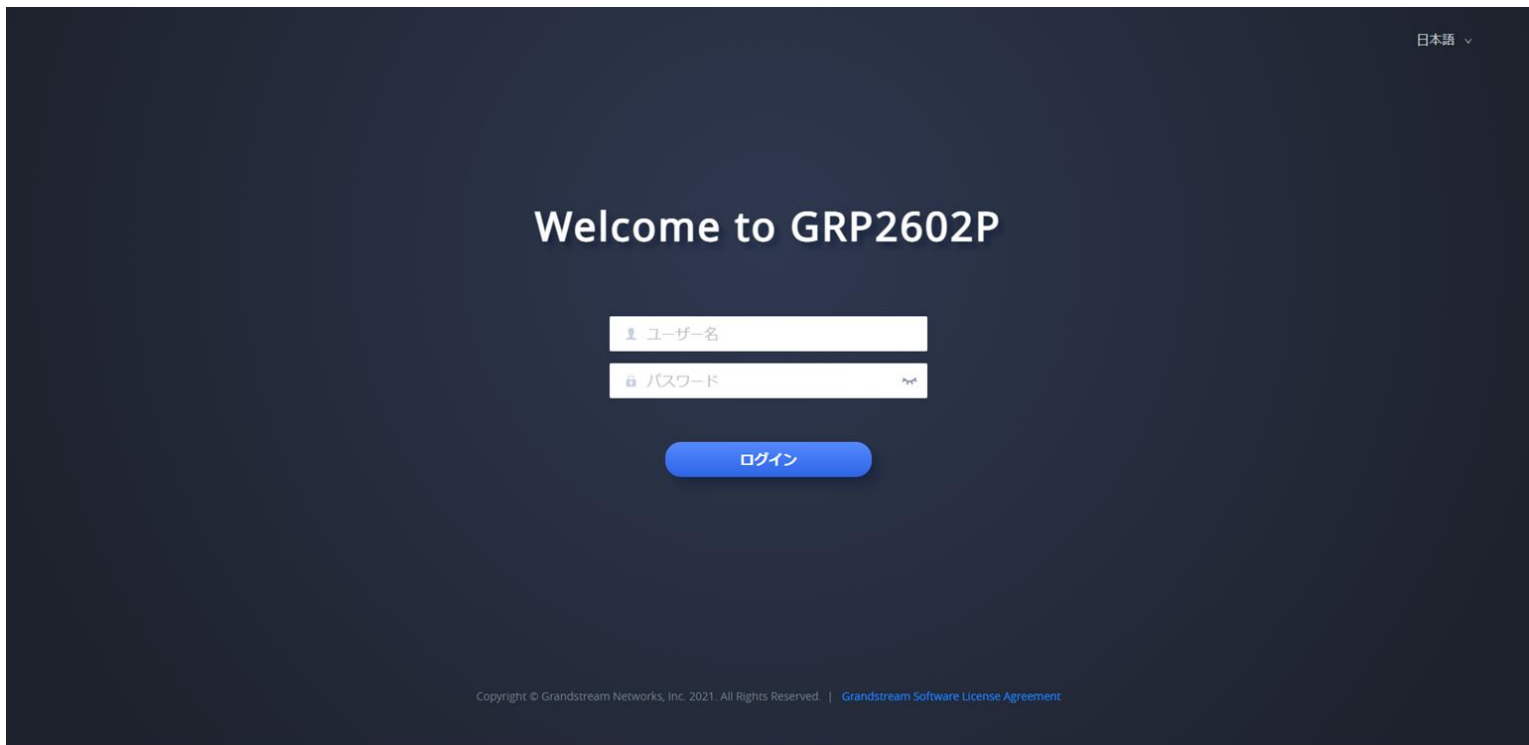
② webブラウザから、設定ページを開く。

GRP260xと同じネットワークに接続されたPCから、Google Chrome等webブラウザを起動し、先ほど確認したIPアドレスを以下のように打ち込みます。

http://(IPアドレス)/ 例：192.168.1.2 の場合、<http://192.168.1.2/>

下図画面が表示されます。

※ファームウェアバージョンによって画面構成が異なる場合がございます。



③ 上記画面が表示されますので、ユーザー名、パスワードを入力し、言語を「日本語」に選択して「ログイン」をクリックします。

※機器初期直後のユーザー名は「admin」です。

パスワードのデフォルトは本体背面のシールに「Password」と記載されているものになります。

工場出荷後、最初のログイン時には、パスワードの強制変更画面が表示されます。パスワードを設定してください、また、セキュリティ確保のため、パスワード変更の場合は、手順⑩にて変更して下さい。

※ログインユーザー名は adminで固定。変更不可となります。

設定方法【クラウドPBXをご利用の場合】

【クラウドPBXをご利用の場合】

- ④ 画面左メニューの「アカウント」を選択します。
画面上部「アカウント1」をクリックします。
「一般設定」をクリックします。

GRP2602P

アカウント1 アカウント2 アカウント3 アカウント4

一般設定 SIP設定 コーデック設定 通話設定 詳細設定 ダイヤルプラン 機能コード

アカウント登録

アカウント有効 チェックを入れる

アカウント名 ユニーク

SIPサーバ ログインサーバー:25060

セカンダリ SIP サーバ

SIP ユーザ ID ユニーク

認証ID ユニーク

認証パスワード 端末パスワード

名前 ユニーク

Tel URI 無効化

留守番電話ユーザID 999

アカウント表示 ユニーク

アウトバウンドプロキシ ログインサーバー : 25060

保存 保存して適用 リセット

アカウント名、SIPユーザID、認証ID、名前：ユニーク（10桁の数字）を入力します。
SIPサーバ： & アウトバウンドプロキシ： お客様管理ページに記載されているログインサーバを入力し、その後ろに続けて“:25060”と入力します。

※管理ページに記載されているログインサーバがVoip3XXXの場合は、ログインサーバ後の“:25060”は入力しないで下さい。

例) sip0.0000000.com:25060

認証パスワード： 端末パスワードを入力します。

もし、管理ページにてユニークの端末パスワードの変更を行った場合は、変更したパスワードを入力します。

留守番電話ユーザID：「999」を入力します。

※ユニーク等をコピー&張り付けで入力した際に空白(スペース)と一緒に入力されてしまうと着信できなくなる不具合があります。

入力が完了しましたら、下の「保存して適用」のボタンをクリックします。

- ⑤ 一般設定の下部「ネットワーク設定」より、
NATトラバース：Keep-Aliveを選択します。

GRP2601P

Account 1 Account 2

一般設定 SIP設定 Codec Settings 通話設定 Advanced Settings Dial plan Feature Codes

Voicemail Access Number

Account Display ユーザ名

Network Settings

アウトバウンドプロキシ

Secondary Outbound Proxy

DNSモード レコード

DNS SRV Fallback Mode デフォルト

プライマリIP

バックアップIP 1

バックアップIP 2

NATトラバース Keep-Alive

Proxy-Require

Use SBC

保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2021. All Rights Reserved. | Grandstream Software License Agreement

入力が完了しましたら「保存」のタブをクリックします。

設定方法【CTIをご利用の場合】

【CTIをご利用の場合】

- ④ 画面左メニューの「アカウント」を選択します。
画面上部「アカウント1」をクリックします。
「一般設定」をクリックします。

GRP2602P

アカウント1 アカウント2 アカウント3 アカウント4

一般設定 SIP設定 コーデック設定 通話設定 詳細設定ダイヤルプラン 機能コード

アカウント登録

アカウント有効 チェックを入れる

アカウント名 端末ID

SIPサーバ CTIサーバ

セカンダリ SIPサーバ

SIPユーザID 端末ID

認証ID 端末ID

認証パスワード 端末のパスワード

名前 端末ID

Tel URI 無効化

留守番電話ユーザID 999

アカウント表示 ユーザー名

ネットワーク設定

アウトバウンドプロキシ CTIサーバ

保存 保存して適用 リセット

アカウント名、SIPユーザID、認証ID、名前：端末ID（英数字）を入力します。
SIPサーバ： & アウトバウンドプロキシ：端末が設定されてるCTIサーバドメインを入力します。（例ctixxx.cldpbx.com）
認証パスワード： 端末詳細のパスワードを入力します。
もし、管理画面にて端末詳細のパスワードの変更を行った場合は、変更したパスワードを入力します。
留守番電話ユーザID：「999」を入力します。

入力が完了しましたら、下の「保存して適用」のボタンをクリックします。
（2つ目のユニークを設定する場合は、「アカウント2」も「アカウント1」同様に設定してください）

- ⑤ 一般設定の下部「ネットワーク設定」より、
NATトラバース：Keep-Aliveを選択します。

GRP2601P

Account 1 Account 2

一般設定 SIP設定 Codec Settings 通話設定 Advanced Settings Dial plan Feature Codes

Voicemail Access Number

Account Display ユーザー名

ネットワーク設定

アウトバウンドプロキシ

Secondary Outbound Proxy

DNSモード レコード

DNS SRV Failover Mode デフォルト

プライマリSIP

バックアップSIP 1

バックアップSIP 2

NATトラバース Keep-Alive

Proxy-Require

Use SBC

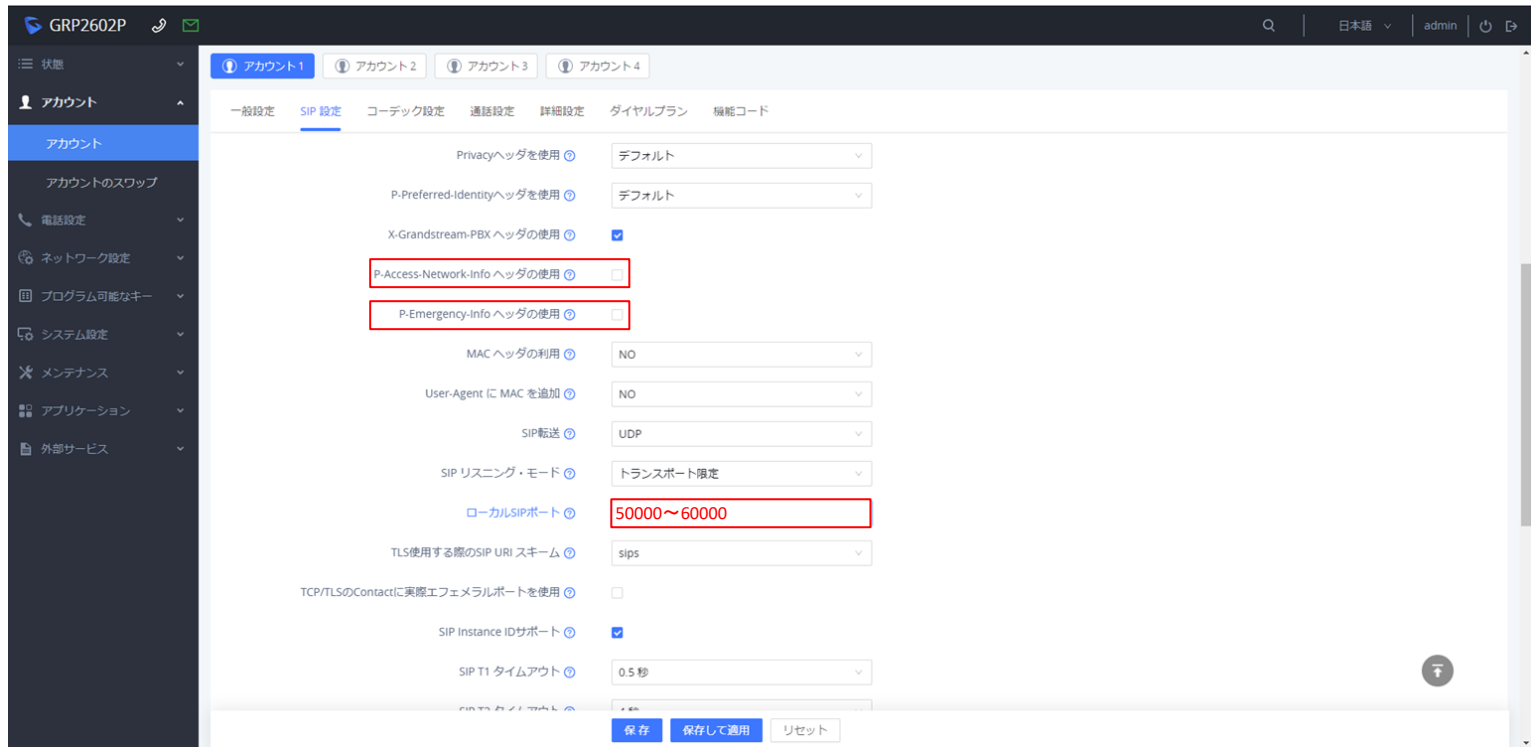
保存 保存して適用 リセット

Copyright © Grandstream Networks, Inc. 2021. All Rights Reserved. | Grandstream Software License Agreement

入力が完了しましたら「保存」のタブをクリックします。

設定方法

⑥画面上部タブの「SIP設定」をクリックします。



Use P-Access-Network-Info Header :チェックマークを外します。

Use P-Emergency-Info Header :チェックマークを外します。

ローカルSIPポートに50000~60000のいずれかの数字を入力します。

※重複の無いように、各端末毎に異なるポート番号を割り当ててください。

例：端末Aには50000、端末Bには50001

入力が完了しましたら「保存」のタブをクリックします。

設定方法

⑦ 画面上部の「Advanced Settings」内の「セキュリティ設定」まで移動します。

The screenshot shows the 'Advanced Settings' page for Account 1. The 'Security Settings' section is active, and the 'Check SIP User ID for Incoming INVITE' option is checked. The 'MOH' section is also visible, with 'On Hold Reminder Tone' checked. The 'Expansion Function' section is partially visible at the bottom.

設定項目	状態
ドメイン証明書確認	<input type="checkbox"/>
Validate Certificate Chain	<input type="checkbox"/>
受信メッセージ有効化	<input type="checkbox"/>
MESSAGE 内の charset=UTF-8 を省略する	<input type="checkbox"/>
Allow Unsolicited REFER	無効化
プロキシから受信する SIP のみを許可します	<input type="checkbox"/>
受信INVITEのSIP ユーザ IDを確認	<input checked="" type="checkbox"/>
Allow SIP Reset	<input type="checkbox"/>
受信する INVITE を認証します	<input type="checkbox"/>
On Hold Reminder Tone	<input checked="" type="checkbox"/>
保留音 URI	
特別機能	標準
コール機能キー同期	<input type="checkbox"/>

受信INVITEのSIPユーザIDを確認：チェックマークを入れます。
(英語表示の場合は、Check SIP User ID for Incoming INVITE) 変更が完了しましたら
下の「保存して適用」のボタンをクリックします。

設定方法

⑧ 画面上部タブ「Codec Settings1」内の「Audio」の「Preferred Vocoder」を変更します。

The screenshot shows the 'Audio' configuration page for 'Account 1'. The 'Preferred Vocoder' section is highlighted with a blue box. It contains two columns: 'Available' (7 items) and 'Selected' (1 item). The 'Available' list includes PCMA, G.723.1, G.729A/B, G.726-32, and G.722 (広帯域). The 'Selected' list contains PCMU. Below this, the 'DTMF発信' section is highlighted with a red box, showing 'in-audio' and 'RTP (RFC2833)を介する' (selected) options. Other settings like 'Codec Negotiation Priority' (Callee), '200OK SDP' (unchecked), 'ILBCフレームサイズ' (30ms), 'ILBCペイロードタイプ' (97), 'G.726-32 Packingモード' (ITU), 'Opus Payload Type' (123), 'DTMFペイロードタイプ' (101), and 'Enable Audio RED with FEC' (checked) are also visible.

Preferred Vocoderの右側（赤枠）内に「PCMU」だけが残るように移動させます。
※PCMU以外のコーデックを使用する場合はPCMUと同じように使用するコーデックのみを残して移動させてください。

DTMF発信：「RTP(RFC2833)を介する」を選択してください。

入力が完了しましたら下の「保存して適用」のボタンをクリックします。

設定方法

⑨ 画面左タブ「System settings」内の「Time and Language」日付と時刻を変更します。

The screenshot shows the 'Time and Language' configuration page. The left sidebar is expanded to 'System Settings' > 'Time and Language'. The main content area has two tabs: '日付と時刻' (Date and Time) and '言語' (Language). Under '日付と時刻', the following settings are visible:

- NTPサーバ: ntp.mfeed.ad.jp (highlighted with a red box and arrow)
- Secondary NTP Server: (empty)
- NTP Update Interval: 1440
- Allow DHCP Option 42 to override NTP server:
- タイムゾーン: GMT+09:00 (日本, 韓国, ヤクーツク) (highlighted with a red box and arrow)
- DHCP オプション 2 がタイムゾーン設定を無視できるようにします:
- ユーザ定義タイムゾーン: MTZ+6MDT-5,M4.1.0,M11.1.0
- 時刻表示フォーマット: 2021-05-14
- 時間表示フォーマット: 12時間表示

Buttons at the bottom: 保存, 保存して適用, リセット.

NTPサーバ：「ntp.mfeed.ad.jp」を入力します。

タイムゾーン：GMT+09:00（日本、韓国、ヤクーツク）を選択します。入力が完了しましたら「保存して適用」のタブをクリックします。

⑩ 画面左タブ「System settings」内の「Time and Language」言語を変更します。

The screenshot shows the 'Time and Language' configuration page with the '言語' (Language) tab selected. The '表示言語' (Display Language) dropdown menu is set to '日本語' (Japanese). Buttons for '保存' (Save), '保存して適用' (Save and Apply), and 'リセット' (Reset) are visible at the bottom.

表示言語を日本語に変更して保存して適用を選択します。

設定方法

⑩ 画面左タブ「メンテナンス」内の「アップグレードとプロビジョニング」内の「プロビジョニング」を選択します。

自動アップグレード：「NO」を選択します。

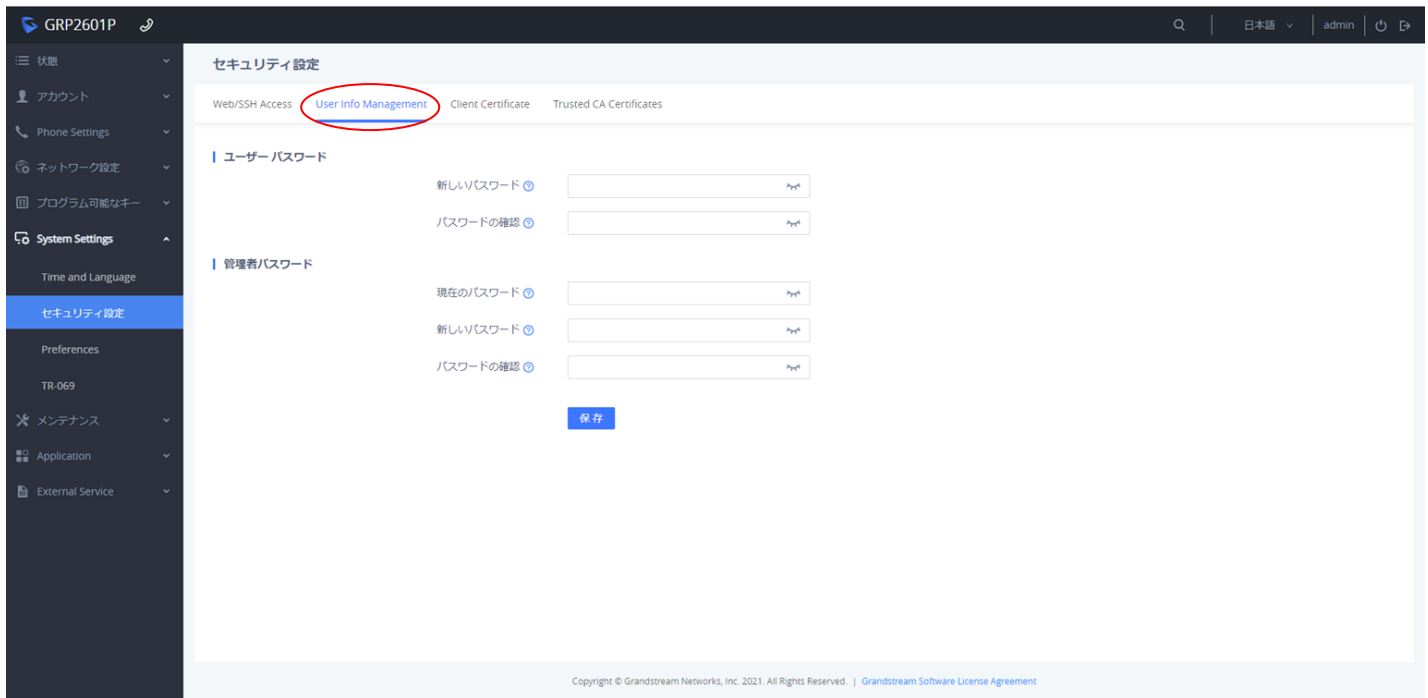
**フレームウェア更新と
プロビジョニング**：「常にフォームウェア確認をスキップする」を選択します。

ファームウェア・アップグレードの確認：チェックをはずします。

設定が完了しましたら下の「保存して適用」のボタンをクリックします。

設定方法

⑪画面左部「System Settings」タブの「セキュリティ設定」内の「User info Management」をクリックします。



現在のパスワード：「現在のパスワード」を入力します。

新しいパスワード：「任意のパスワード」を入力します。

パスワードの確認：「新しいパスワード」を再度入力します。

※設定ページにログインする際のパスワードになります。機器を初期化した直後の初期パスワードは本体背面のシールに記載されておりますのでご確認ください。

入力が完了しましたら「保存」のタブをクリックします。

設定方法

⑫ 端末の登録状態を確認します（クラウドPBXをご利用の場合）

webブラウザから、お客様管理ページを開きます。
画面上部の「各種設定」から「ユニーク一覧」をクリックします。

解約 取消	詳細	ユニーク	状態	名称	所属	ピックアップ アップダ ープ	着信			発信			U種別	備考
							内線	電話番号	種別	内線	電話番号	種別		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		00008888888	✓		Default	200	-	-	200	-	-	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		00009999999	✗		Default	201	-	-	201	-	-	<input type="checkbox"/>	

上のような画面が表示されるので、対象ユニークの「状態」のマークを確認します。



・・・電話機が使える状態です。



・・・電話機が使えない状態です。クリックすると失敗のステータスを確認する事ができます。

チェックマークがついていれば、設定完了になります。

※✗マークの場合、端末に入力したユニーク、端末パスワード等に間違いがないかご確認ください。

アカウント	SIP ユーザ ID	SIP サーバ	SIP登録
① アカウント 1	0000312708	sip3.cldpbx.com	YES
① アカウント 2	HLRLDF000196	cc010.cldpbx.com	YES
① アカウント 3			NO
① アカウント 4			NO

GRP260xに再ログインします。

GRP本体のレジスト画面となります。アカウント名の左側が緑色になっていればレジスト成功です。

赤色やグレーになっている場合には、設定が正しく行われていません。

ユニークID、ログインサーバ、パスワード等を確認の上入れ直してみてください。

電話機の使い方

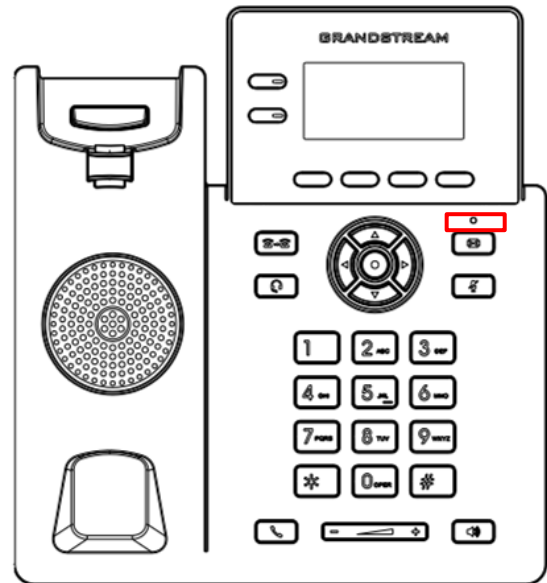
【外線電話のかけ方】

- ①受話器を持ち上げてください。
- ②相手の掛け先電話番号を押してください。
- ③発信ボタンを押すか、しばらくお待ちください。
- ④通話が終わったら、受話器を元の位置に戻してください。

【内線電話のかけ方】

(※ 事前に管理画面から内線番号の設定を行って下さい。)

- ①受話器を持ち上げてください。
- ②相手の掛け先内線番号を押してください。
- ③発信ボタンを押すか、しばらくお待ちください。
- ④通話が終わったら、受話器を元の位置に戻してください。



図：留守電時に点滅する場所(GRP2601/2602の例)

【電話の取り方】

- ①呼び出し音がなります。
- ②受話器を持ち上げて、通話を始めてください。
- ③通話が終わったら受話器を元の位置に戻してください。

【保留転送の方法】

- ①電話を取ってください。
- ②#9を押してください。「転送」とメッセージが流れます。
- ③転送先の内線番号を入力して#を押してください。
- ④内線先にかかるので要件を伝えて電話を切ると、通話が切り替わります。

【封筒ボタン上の緑ランプが点滅している場合】

新しい留守番電話メッセージが入っています。

【留守番電話の確認方法】

- ①図の赤枠のランプが緑色に点滅していることを確認します。
- ②999に電話を掛けます。
- ③PWを聞かれるのでPWを入力してください。(デフォルト"1234")
- ④ガイダンスに従ってメッセージを確認してください。
- ⑤ガイダンスにそって終了してください。

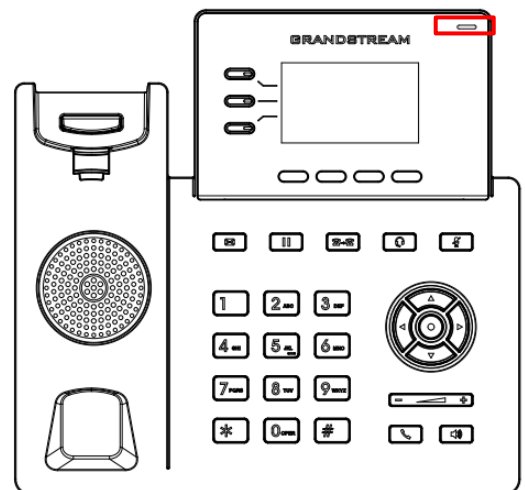
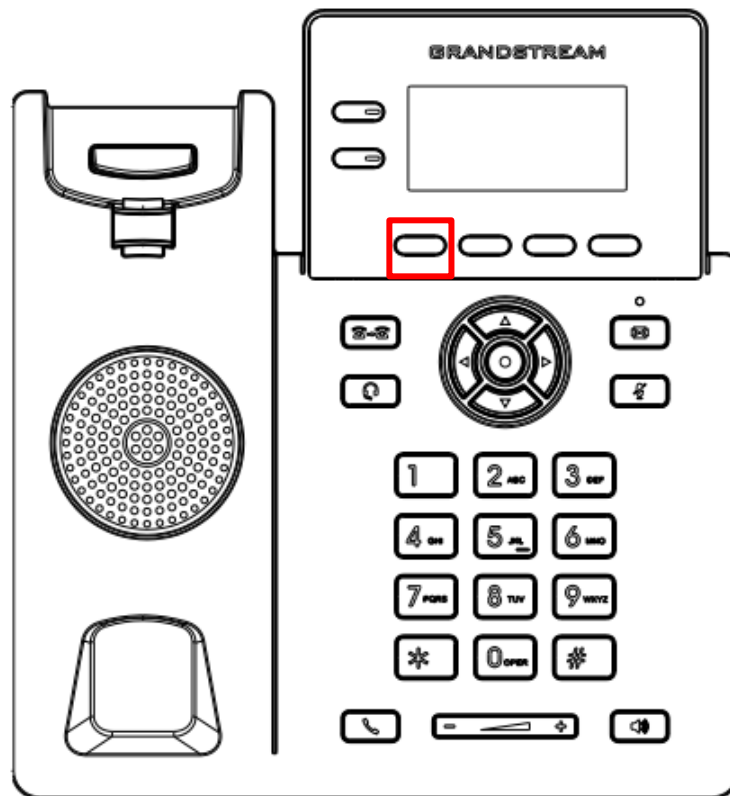


図2：留守電時に点滅する場所(GRP2603/GRP2604の例)

電話機の使い方

3者通話の開始方法

- ①通話を開始してください。
- ②通話中に画像1のボタンを押してください。
- ③会議に参加させたい内線番号または、
外線番号を入力し、赤枠のボタンを押してください。
(画像2)
- ④通話に成功すると3者通話開始です。(画像3)
- ⑤更に参加者を追加したい場合は
手順②から④を繰り返してください。



画像 1 : ボタンの位置

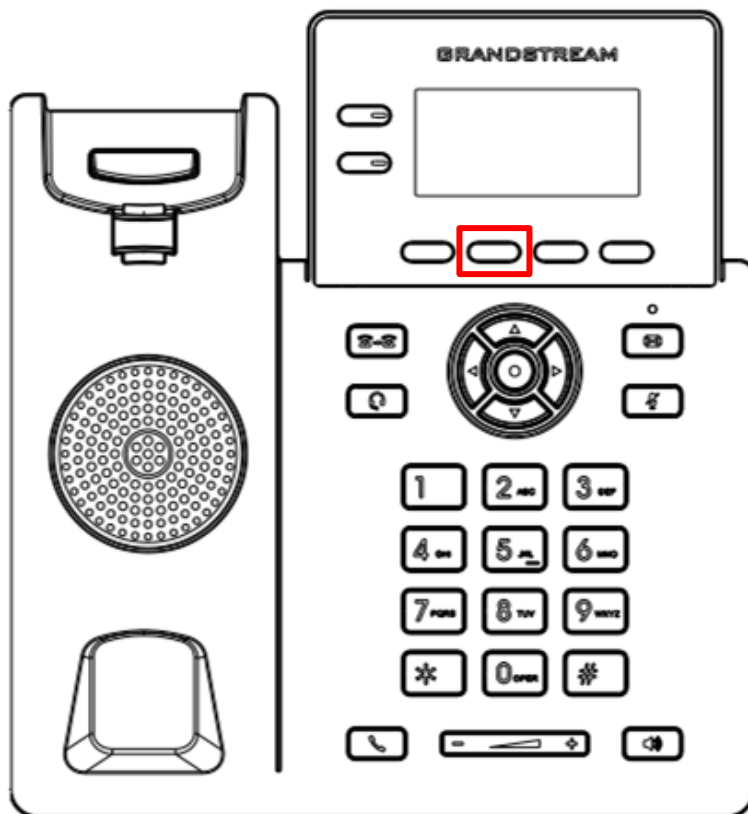


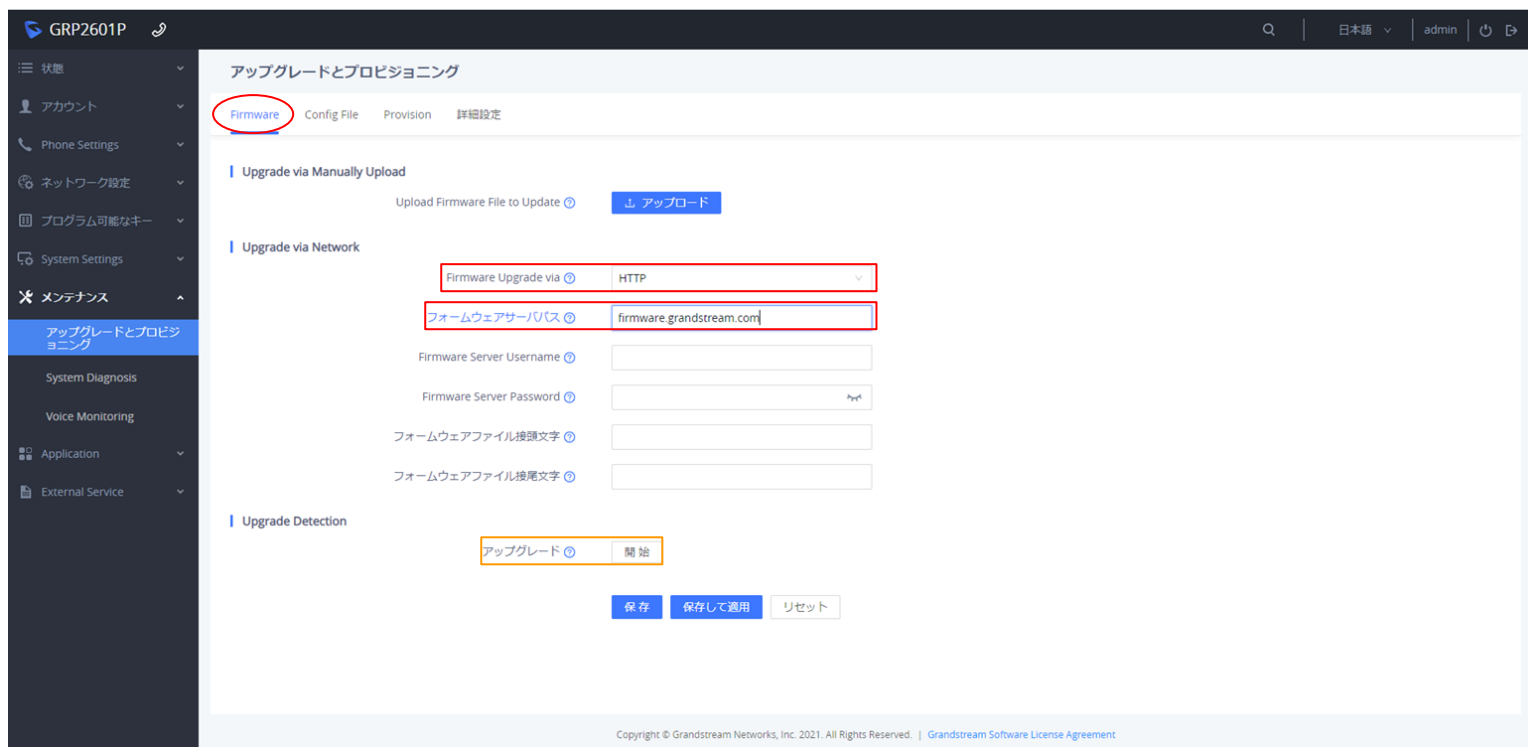
図 2 : 番号入力した後に押すボタン



図 3 : 参加者が通話に入った後の画面

補足：ファームウェアのアップグレード方法

画面左タブ「メンテナンス」の「アップグレードとプロビジョニング」から、「Firmware」をクリックします。



次のもの経路でのファームウェアのアップグレード：「HTTP」を選択します。
ファームウェアサーバパス：「firmware.grandstream.com」を入力します。

入力が終わりましたら最下部の「保存して適用」をクリックします。

Upgrade Detectionのアップグレードを「開始」をクリックします。再起動が完了後、しばらくすると電話機のディスプレイにファームウェアのアップグレード確認画面が表示されるので「はい」を選択します。何もボタンを押さない場合、自動的にアップグレードが開始されます。

※ファームウェアのアップデートには数分かかりますので、LANケーブルの抜き差しや端末の操作等はお控え下さい。

アップデートがうまくいかない場合は、一度初期化してから再度アップデートをかけて下さい。
初期化方法は当マニュアルに記載されていますのでそちらをご確認下さい。

補足：キャッチホンの設定(デフォルトは有効です)

アカウントの通話設定をクリックします。

The screenshot shows the 'Account 1' settings page in the cloudippbx administration interface. The left sidebar contains navigation options like 'アカウント' and 'アカウントのスイッチ'. The main content area is titled '通話設定' and includes various settings such as '通話録音オン/オフ', 'Enable Recovery on Blind Transfer', 'ブライント転送待機タイムアウト', 'キー未入力タイムアウト', '音タイムアウト', 'Refer-To に 目標Contact使用', 'RFC2543 保留', and 'Enable Call Waiting'. The 'Enable Call Waiting' dropdown menu is highlighted with a red box and currently shows 'NO'. Below this, there are settings for 'ダイヤル規則' including 'ダイヤル規則接頭文字', 'ダイヤルプランのバイパス', and 'ダイヤル規則'.

通話設定のEnable call Waitingにおいて、

- 「YES」を選択の場合： キャッチホンが使いません
- 「NO」を選択の場合： キャッチホンを利用可能です
- 「デフォルト」の場合： 初期設定では、キャッチホンを利用可能です。

故障かな？と思ったら

交換を依頼する前にもう一度下記の表をご確認ください。

それでも具合の悪いときは、弊社まで、お問い合わせください。

症状	原因	処置
障害全般	電源ケーブルの抜き差しをお願いします。（数回行ってください） 電源ケーブルを抜いてから再度接続するまでは、1分以上お待ちください。 上記を行っていただいても改善されない場合は、弊社サポートまで、 ご利用のルーターのメーカー・名称・商品番号及びブロードバンド環境をご連絡ください。	
呼び出し音が鳴らない	イーサネットケーブルがはずれていませんか。	イーサネットケーブルの接続を確認してください。
	ACアダプタがはずれていませんか。	ACアダプタの接続を確認してください。
	呼び出し音量の設定を変更しましたか。	Volumeボタンで音量を調節してください。
	ディスプレイに表示される設定を変更しましたか。	変更した設定を元に戻すか、イーサネットケーブルを抜き差し(再起動)してください
	着信拒否モードになっていませんか。 LCD画面右隅に進入禁止マークが表示されていませんか。	本体の消音ボタンを押下して、LCD画面右隅の進入禁止マークを消去して下さい。
通話が途切れる ノイズが入る	ネットワーク環境に異常はありませんか。	ネットワーク環境を確認し、問題箇所を修復してください。

【初期化手順】

1. メニューボタンを押します。
2. 設定→詳細設定を開きます。（2→4のボタンを押します）
3. 工場出荷設定に戻すを選択します。（6のボタンを押します）
4. 「本当に工場出荷時設定にリセットします」と出てくるのでディスプレイ下の一番右側のボタンを押します。
5. 電話機が自動的に再起動され、設定が初期化されます。

【初期化にあたっての注意】



全ての設定が初期化されます。(工場出荷時の設定に戻ります)











初期化作業を行うと設定されたデータが全て消去されます。








初期化作業後はご利用のサービスに必要な情報を再度設定する必要があります。

安全にお使い頂くために

本書では、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。
 注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 警告	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容を示しています。

 警告	
	煙が出たり、変なにおいがするときは電話機コードを抜く そのまま使用すると、火災や事故の原因となります。お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
	分解・改造しない 火災・感電・故障の原因となります。
	開口部から金属類を差し込んだり、落とし込んだりしない 万一、入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	内部に水や異物を入れない 水や異物を入れると、火災・感電の原因となります。万一、水や異物が入った時は、電話機のコードを抜き、販売店に連絡してください。
	故障や異常状態のまま使用しない 火災・感電の原因となります。
	雷が発生したときは、本機に触れない 感電の原因となります。
	風呂やシャワー室では使用しない 火災・感電・故障の原因となります。
	本機の上や近くには水などの入った容器や小さな金属物を置かない こぼれたり、中に入ったりすると火災・感電・故障の原因となります。
	水などで濡らさない 本機は生活防水タイプではありません。万一、内部に水などが入った時は電話機のコードを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

 注意	
	調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気があたるところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	直射日光の当たるところに置かない 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
	湿気やほこりの多いところに置かない 火災・感電・故障の原因となることがあります。
	極端に寒いところや急激な温度変化のあるところに置かない 故障の原因となることがあります。
	不安定な場所や振動の多いところに置かない 落ちたり、倒れたりすると、けが・故障の原因となることがあります。
	受話器の受話部に吸着物がないか確認してから使う 受話器の受話部の磁石に、画鋲やピン、ホチキスなどの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。